

学校ホームページはこちら↓



常磐の松

【顔をあげて 胸をはって 自分の言葉で】

「挑戦を力に、実りの秋へ」

校長 中村 幸一郎

秋風が心地よい季節となり、といえるのはまだ先の話ですね。気温の高い日が続いております。長い夏休みを経て、子どもたちはそれぞれに成長の跡を刻み、元気に二学期をスタートいたしました

さて、二学期は一年の中で最も行事が多く、学習・生活・部活動のいずれにおいても成長の幅が大きく広がる時期です。学習面では、夏休みに養った基礎力を土台として、授業の理解をより深め、発展的な学びに挑戦する段階に入ります。特に三年生にとっては、進路選択に直結する大切な学期であり、日々の授業や実力試験等に真剣に向き合いながら、自らの将来像を具体的に描く時期となります。一・二年生にとっても、基礎学力を確かなものにし、生活習慣を安定させることが、今後の大きな自信につながるでしょう。

去る9月21日には、本年度の体育大会を無事に終えることができました。開催にあたりましては、厳しい残暑が予想される中、熱中症対策を最優先に計画を練り直し、当日は水分補給や休憩の時間を多めに設け、テントや日陰の活用を徹底いたしました。生徒たちはその中で力いっぱい競技に臨み、声を掛け合い、最後まで全力を尽くしてくれました。御来場いただいた保護者・地域の皆さまの温かい応援も、大きな励みとなったことと思います。心より感謝申し上げます。

本校の体育大会は、単なる競技の場ではなく、協力・責任・挑戦を実際に体験できる教育活動の一環です。競技に出場する人、裏方で支える人、仲間を応援する人、すべての役割が大会の成功を支えています。勝敗を超えて、「やり切った」と胸を張れる経験を積んでほしいと願っています。

また、9月は「防災の日」を含む月でもあり、防災意識を高める大切な機会です。全国的にも地震や豪雨などの災害が相次いでおり、日常の備えが何よりの安心につながります。本校では9月1日の避難訓練を通して「自らの命を守る行動」を確認しています。御家庭でも、非常持出品や避難経路を話し合うなど、家庭防災の意識を高めていただければと思います。

二学期はまた、文化行事や地域との交流も盛んになります。生徒会活動や部活動は、子どもたちにとって自らを表現し、仲間と共に歩む大切な舞台です。一方で、日々の生活においてはスマートフォンやSNSの利用が生活リズムや人間関係に影響を及ぼすこともあります。学校と家庭が協力し、決めたルールをしっかりと守り、マナーを共有して、子どもたちが安心して学び、伸びていける環境を支えたいと考えています。御家庭でもしっかりと見守ってください。

最後に、生徒の皆さんへ。二学期は、自分をさらに伸ばす絶好の機会です。失敗を恐れず、一步を踏み出してください。仲間と支え合い、先生方や保護者に見守られながら歩むその姿が、必ず将来への力となります。



(生徒が作成した体育大会ポスターの一部)

体育大会！大成功！

9月21日（日）『流した汗は団結の証！輝け 松中魂』のスローガンのもと、第79回体育大会を開催しました。

保護者の皆様、地域の皆様等、多くの方々に御来校いただきまして、まことにありがとうございました。生徒たちのこれまでの練習の成果を発揮でき、全ての競技を無事に終えることができ、達成感を伴う体育大会となりました。

応援団の力強い演舞、生徒主体のマスゲーム、全員100メートル走や全員リレーに、長縄跳び等大いに盛り上りました。また、各学年種目も例年通り1年生は『台風の目』2年生は『ムカデ競走』3年生は『綱引き』と、力を合わせて頑張りました。特に3年生の親子綱引きは今年も良い盛り上がりを見せておりました。良い思い出になったことでしょう。

生徒の頑張りと先生方や保護者、地域の協力があって、第79回松山中学校体育大会は大変素晴らしいものとなりました。この成功が今後の学校生活に繋がりますよう、職員一丸となり尽力いたします。ありがとうございました。



【10月の主な行事予定】

- 1日（水）生徒集会
- 3日（金）生徒会改編 英検 PTA常任委員会
- 6日（月）地区総体推戴式 全校集会
- 7日（火）3年生実力テスト、地区新人戦
- 8日（水）3年生実力テスト、地区新人戦
- 11日（土）～13日（月）部活動停止（テスト前）
- 14日（火）1、2年中間実力テスト
- 15日（水）英検 IBA いも収穫
- 16日（木）英検 IBA 生徒総会
- 17日（金）英検 IBA
- 24日（金）地区研究公開、25日（土）志学教室
- 28日（火）学校運営協議会
- 31日（金）文化発表会、芸術鑑賞会

吹奏楽部定期演奏会

9月27日【土曜日】やつちくふれあいセンターで、吹奏楽部の定期演奏会を行います。13時から今年も様々なジャンルの曲を準備し、工夫をこらしたステージを計画しています。ご来場の皆様を楽しませるべく、毎日練習に励んでいますので、どうぞ沢山の方々にお越しいただけますよう、お願ひいたします。

◆ 全国学力・学習状況調査（結果）

4月に3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果です。本校では文章や図表等の正確な読解と、それに必要な語彙力に課題が見られました。また自分の言葉で他者へわかりやすく伝える表現力等も力がついてはいますがまだ伸び代があるようです。基礎・基本を発展課題に活用する力ももう少しつけたいところです。結果を受けて学校でも授業改善に取り組みますので、

御家庭では家庭学習の充実（復習に重点をおいて学習時間を確保する）等御協力をお願いします。

	国語	数学
自校通過率	55.0	44.0
市通過率	48.0	38.0
県通過率	53.0	45.0
	理科	
自校正答数	2.2	
市正答数	2.6	
県正答数	2.8	

弁護士によるいじめ防止授業～いじめ問題を考える週間～

9月4日は「いじめ問題を考える道徳の授業」が全校一斉に行われました。今年度は、県弁護士会が主催している弁護士によるいじめ防止授業（出前授業）を活用し、志布志法律事務所の内藤由佳弁護士を講師にお迎えして、少年犯罪を主に担当していた法律家の視点から「いじめがなぜなくならないのか」「いじめをなくすためにはどうすればよいか」「考えることの大切さについて」の3つのトピックで、内藤先生の体験談や実際の事例を取り上げながら、全校で共に考える50分間となりました。日頃の道徳の授業とは異なる切り口で展開する話に、生徒たちは様々な事を考えたようです。以下に生徒の感想の一部を抜粋して掲載します。

中学生は心のアクセルは発達しているがブレーキが未完成だと知り止めることができ難いと知った。またいじめた人たちの心にも傷が残ると知ってびっくりした。私は、知らないところで人が傷ついてしまうことを言ってしまってはいないかと不安になった。SNSでの言葉使いや相手の気持ちを考えて発言、行動したい。いじめを見つけたら自分で止められなくてもすぐ先生に相談したい。大切なことを教えてください、本当にありがとうございました。

一度ぐしやぐしやになった心は治っているように見えて完全には治らないということが特に心に残りました。いじめで命を失う人もいるということ、人を一度でも百回でも殴ったらそれは同罪になること、言葉を発する前にきちんと考えて言葉にすることの大切さなどとても考えさせられました。今後は自分の言葉が相手に対してどう捉えられるかを考えることを大切にしたいし、一人でいる友達には寄り添ってあげたいと思います。いじめについて詳しく知れて良かったです。ありがとうございました。

